

地水火風 恒牧野

先日、総務省消防庁が「自動消火タバコ」の検討に乗り出した、という報道があった。火災関係者は「いよいよ日本でも始まつたか」と思う一方、タバコ関係者は神経を尖らす、という状況になつてゐるようだ。今回は、この自動消火タバコとタバコによる火災被害について考えてみたい。

【自動消火タバコ】
「自動消火タバコ」とは聞き慣れない言葉かも知れないが、考え方自体は以前からあった。しばらく吸わないと自動的に消えてしまうタバコのことだ。英語ではfire-safe cigaretteと言

う。紙の漉き方を部分的に変えて空気の透過性を減らすなど、化学物質を使わない方法が考えられていた。健康への影響とも訳されている。消防局では「低延焼性たばこ」を考えれば当然だ。

【先進国では規制が始ま

った】
そんなゾーンを幾つか作つておく、という仕掛けが多い。

空気の供給を抑制する

原理が単純で昔からあり

る。その年に、ようやく最

近になって現実のものと

なつて来たのは、そんな

に規制又は規制に向けて

の検討が始まっている。

最初に自動消火タバコの義務づけ(自動消火タバコ以外のタバコに対する方針を打ち出

して)というわけで、先進国

は一齊に自動消火タバコとなつていて。件数では3位だが、原因別の損害額で見ると73億円で第1

位であることは見逃せない。

これは珍発明のように見

れていた自動消火タバ

コが、いよいよ現実の

タバコの義務化に向か

自動消火タバコとタバコ火災

自動消火の原理はいろいろあるが、紙巻きタバコの紙に工夫をし、燃焼部分がタバコの一定ゾーンに差し掛かった時に空気の供給を抑制すると、いう方法が主流になつてゐる。吸い続ければ、燃焼部分がそのゾーンを突破して再び普通に喫煙できないようになるが、吸つ

ていないと空気が十分供給されないので消えてしまふ。1本のタバコに

吸い慣れない言葉かも知れないが、考え方自体は以前からあった。しばら

く吸わないと自動的に消えてしまうタバコに対する方針を打ち出

して)といふ。この問題にどう向き合うのか決めていかなければならない。

ヨーロッパでは、EU

の欧州委員会が2008年8月に自動消火タバコの基準案を発表し、今年

販売規制が始まる各国へ

上の州で行われるようになつており、カナダもこれにならつている。

ヨーロッパでは、EU韓国では製造規制を検討しているのは、国内の製造関係者にあえて厳しい規制を課すことにより、

990年代の終わり頃まで、40年近く出火原因のトップを占めて来た。

2009年には、タバコ離れば進んでいる時

104人の2倍近い値

一方、住宅火災で亡くなつた人のうち15・6%

なつた人(うち15・6%)に当たる160人(これも圧倒的に第1位)は、

最初に布団類に着火した

1023人の18・9%に当たる193人が、タバコを原因とする火災で亡くなつている。これは、

原因の主役となつて来た。どこの国でも、タバコ火災は、放火火災や電

気火災と出火原因のトップを争っている。日本で

一方、住宅火災で亡くなつており、カナダもこれにならつている。

他の国が販売規制なのに、なぜか自動消火タバコに対する火災で亡くなつている。これは、

各國とも、防火関係者や環境保護関係者、禁煙運動関係者などは、自動消火タバコの義務化に熱心だが、タバコ製造関係者は消極的だと聞く。

現に、アメリカでは、2005年に連邦議会に自動消火タバコを義務化する法案が提出されたが、生産者関連団体の反対で否決された。そ

れ以後、自動消火タバコを推進する人々は、国レベルの義務化を当面あ

きらめ、州ごとに法制化する方針に切り替えて実

績を上げている。規制を検討している他の国で

世界の動きを取り残されてしまつことの多い日本の

動きを見ていると、特に

動消火タバコ以外のタバコの販売規制を導入する方向で動き始めた。

【タバコ火災の被害】

タバコは、昔から出火

原因の主役となつて來

た。どこの国でも、タバ

コ火災は、放火火災や電

気火災と出火原因の

トップを争っている。日本で

一方、住宅火災で亡くなつて

いる。これは、

タバコ関係者も、消防厅

の動きを複雑な気持ちで

注視しているようだ。昨

て走り始めるのかどうか、予断を許さないところがある。

【自動消火タバコにどう向き合うのか】

自動消火タバコに対す

る各国の動きとタバコ火

災による以上のような被

害を勘案した上で、日本

の禁煙、嫌煙の広まり

やタバコ税の値上げでタ

バコ離れが進んでいる時

に、さらに追い打ちをか

けられている、という氣

持ちだろ。

確かにそう感じるもの

わからないではないが、

長い目で見れば、自動消

火タバコの義務化の流れ

は変わらないだろう。そ

う考えて、対応を先取り

(もう、そつならないか

も知らないが)する、と

いう選択肢もありうるの

ではなかろうか。

この問題に限らず、時

代を先取りしようと国レ

ベルで素早く動く韓国

と、取り敢えず大きな変

化を嫌つているうちに世

界の動きを取り残されて

しまつことの多い日本の

動きを見ていると、特に

タバコ関係者も、消防厅

の動きを複雑な気持ちで

注視しているようだ。昨

て走り始めるのかどう

か、予断を許さないとい

うがある。